

## オリンピック先生



さとう しんたろう

### 佐藤 真太郎 先生 【ボブスレー】

- 生年月日 1980年8月20日
- 出身地 埼玉県鶴ヶ島市
- 出身校 鶴ヶ島市立藤中学校－  
埼玉県立松山高等学校－  
早稲田大学－筑波大学大学院



#### プロフィール

中学時から陸上競技に取り組み、大学2年・3年時に日本選手権大会に於いて、4×100mリレーで2連覇を達成。卒業後は、大学の専任講師を務めながら陸上競技を続ける。2013年にボブスレー日本代表選手候補選出のためのトライアウトに合格し、本格的にボブスレー競技に取り組む。翌年、ボブスレー競技のブレーカーとして日本代表に選出され、ノースアメリカカップで優勝する。同年、ソチ冬季大会への出場を果たし、大会終了後に現役を引退。現在は大東文化大学准教授及び同大学陸上競技部監督を務め、競技の普及や後進の育成に尽力している。

#### 主な成績

##### <オリンピック競技大会>

|       |        |      |     |
|-------|--------|------|-----|
| 2014年 | ソチ冬季大会 | 4人乗り | 26位 |
|-------|--------|------|-----|

##### <国際大会>

|       |                       |      |     |
|-------|-----------------------|------|-----|
| 2013年 | IBSFワールドカップレークプラシッド大会 | 4人乗り | 19位 |
| 2014年 | ノースアメリカカップレークプラシッド大会  | 4人乗り | 優勝  |

##### <国内大会>

|       |                   |      |    |
|-------|-------------------|------|----|
| 2013年 | 全日本プッシュボブスレー選手権大会 | 2人乗り | 優勝 |
| 2013年 | 全日本ボブスレー選手権大会     | 4人乗り | 優勝 |

#### ボブスレー

ボブスレーは「氷上のF1レース」とも呼ばれており、流線型をした鋼鉄製シャーシーのそりに乗り、全長約1400m前後の氷で造られたコースを疾走します。当初は男子だけの競技でしたが、ソルトレークシティー2002大会から女子2人乗りが新種目として加わり、男子2人乗りと男子4人乗りを合わせて3種目となりました。競技は2日間で4回滑走し、合計タイムの一番速いチームが優勝とります。



## オリンピック先生



や ま だ さ ち こ  
山田 沙知子 先生  
【水泳／競泳】

- 生年月日 1982年10月15日
- 出身地 大阪府吹田市
- 出身校 三田市立狭間中学校－  
須磨学園高等学校－  
関西大学



## プロフィール

3歳から水泳を始め、小学校2年生から本格的に競泳競技に取り組む。高校2年時、日本選手権水泳競技大会で400m・800m自由形で優勝。2000年シドニー大会に出場し、800m自由形で8位入賞を果たす。2003年日本短水路選手権大会800m自由形で日本人女子選手初の自由形世界新記録を達成。翌年アテネ大会に2大会連続で出場。400m自由形では6位入賞の成績を収める。2008年に現役を引退。現在は全国各地で水泳指導や講演会等を行い、後進の育成や競技の普及に尽力している。また、スポーツインストラクターとして様々な競技のアスリートに運動指導を行っている。

## 主な成績

## &lt;オリンピック競技大会&gt;

|       |        |                          |
|-------|--------|--------------------------|
| 2000年 | シドニー大会 | 400m自由形 12位 / 800m自由形 8位 |
| 2004年 | アテネ大会  | 400m自由形 6位 / 800m自由形 12位 |

## &lt;国際大会&gt;

|       |                |                                                         |
|-------|----------------|---------------------------------------------------------|
| 1998年 | アジア競技大会        | 4×200mフリーリレー 2位 / 200m自由形 3位<br>400m自由形 2位 / 800m自由形 2位 |
| 2004年 | 世界水泳選手権大会(25m) | 200m自由形 9位 / 400m自由形 3位<br>800m自由形 優勝                   |

## &lt;国内大会&gt;

|             |             |                                               |
|-------------|-------------|-----------------------------------------------|
| 1998年～2007年 | 日本選手権水泳競技大会 | 400m自由形 優勝7回 / 800m自由形 優勝8回<br>1,500m自由形 優勝4回 |
|-------------|-------------|-----------------------------------------------|

## 水泳／競泳

一定の距離を決められた泳法(自由形、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎ)で泳いでタイムを競います。それぞれの泳法はもちろん、スタートの飛び込みから水中動作、ターンに至る一連の加速、水の抵抗を極力受けないためのテクニックも重要です。10kmマラソンスイミングだけが、海や川、湖等、プール以外で行われ、オープンウォータースイミング(OWS)とも呼ばれます。



## オリンピック先生



くりはら み か  
**栗原 三佳 先生**  
【バスケットボール】

- 生年月日 1989年5月14日
- 出身地 大阪府枚方市
- 出身校 枚方市立東香里中学校 –  
大阪薫英女学院高等学校 –  
大阪人間科学大学



### プロフィール

姉の影響で小学校3年生からバスケットボール競技を始める。高校3年時にはキャプテンとしてチームを牽引し、インターハイベスト8に導く。大学4年時のインカレでは準優勝に貢献し、卒業後は実業団に所属、2013年の全日本総合バスケットボール選手権大会で優勝する。2015年のアジア競技大会では強豪国を破って優勝、2016年リオデジャネイロ大会へ出場し、日本チーム20年ぶりとなるベスト8に輝く。2021年Wリーグでの優勝後、現役を引退。現在はバスケットボール教室や講演会等に積極的に取り組み、後進の育成や競技の普及に尽力している。

### 主な成績

#### <オリンピック競技大会>

|       |            |    |
|-------|------------|----|
| 2016年 | リオデジャネイロ大会 | 8位 |
|-------|------------|----|

#### <国際大会>

|       |            |     |
|-------|------------|-----|
| 2011年 | ユニバーシアード大会 | 12位 |
|-------|------------|-----|

|       |         |     |
|-------|---------|-----|
| 2014年 | ワールドカップ | 14位 |
|-------|---------|-----|

|       |         |    |
|-------|---------|----|
| 2015年 | アジア競技大会 | 優勝 |
|-------|---------|----|

|       |         |    |
|-------|---------|----|
| 2018年 | ワールドカップ | 9位 |
|-------|---------|----|

#### <国内大会>

|       |      |    |
|-------|------|----|
| 2021年 | Wリーグ | 優勝 |
|-------|------|----|

### バスケットボール

1チーム5人ずつで、パス、ドリブル等でボールをつなぎ、相手コートにリングに投げ入れる競技。屋内28m×15mのコートの中で、スピーディーな接近戦を繰り広げます。東京2020大会では、新たに1チーム3人同士で得点を競う「3×3(スリー・エックス・スリー)」が正式種目に採用され、5人制、3人制、それぞれ男女合わせて4種目が実施されました。



## オリンピック先生



て し が わ ら い く え

## 勅使川原 郁恵 先生

【スケート／ショートトラック】

- 生年月日 1978年10月27日
- 出身地 岐阜県岐阜市
- 出身校 岐阜市立藍川北中学校－  
愛知女子高等学校(現：啓明学館高等学校)－  
中京大学



## プロフィール

3歳からスピードスケート競技を始め、小学校5年生からショートトラック競技に転向する。中学2年時、オリンピック強化指定選手に選出され、全日本選手権大会史上最年少で総合優勝を果たし、その後同大会に於いて5連覇を達成。1996年世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会で総合優勝を飾り、1998年長野、2002年ソルトレークシティー、2006年トリノ冬季大会へ3大会連続出場する。2006年に現役を引退。引退後は競技解説やリポーターを務め競技の普及に尽力。また、ウォーキング指導者をはじめ多くの資格を持ち、ヘルスケアスペシャリストとしてイベントやメディア等に多数出演する。

## 主な成績

## &lt;オリンピック競技大会&gt;

|       |                |                                     |
|-------|----------------|-------------------------------------|
| 1998年 | 長野冬季大会         | 500m 6位 / 1,000m 5位 / 3,000m リレー 4位 |
| 2002年 | ソルトレークシティー冬季大会 | 1,000m 17位 / 3,000m リレー 4位          |
| 2006年 | トリノ冬季大会        | 1,500m 17位                          |

## &lt;国際大会&gt;

|       |                             |                           |
|-------|-----------------------------|---------------------------|
| 1996年 | 世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会 | 総合優勝                      |
| 2003年 | アジア冬季競技大会                   | 3,000m リレー 3位 / 3,000m 5位 |

## &lt;国内大会&gt;

|             |                          |      |
|-------------|--------------------------|------|
| 1993年～1999年 | 全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会 | 優勝6回 |
|-------------|--------------------------|------|

## スケート／ショートトラック

ショートトラックはフィギュアスケートと同じリンクで行われ、1周111.12mのトラックを集団で滑走する競技です。レース中に目まぐるしく順位が入れ替わったり、コースの奪い合いで選手同士が接触する等、とてもスリリングな競技です。タイムではなく着順で順位が決まるため、どのタイミングで仕掛けるか、前に出るか等駆け引きが重要なポイントとなります。

